

⑨ 〔健田須賀神社〕

祭神は 武渟川別命・素戔嗚尊で結城市健田を旧跡とする式内社であり、宝暦13年(1763)に小竈・乗国寺境内に移りました。須賀神社は、小山氏が勧請した京都の祇園社(八坂神社)を結城氏が勧請し、明治3年(1870)に神仏分離により健田神社等と合祀して健田須賀神社となりました。

⑦⑫ 〔見世蔵(奥順・つむぎの館)〕

結城紬の歴史などが分かる資料館のほか、紬の反物が並ぶ陳列館などがあります。また地機織りの見学や体験が出来る施設もあります。

【体験(要予約)】

⑨ 〔城跡公園〕

結城城が歴史の舞台に登場するのは、永享12年(1440)の結城合戦の時、平城でしたが要害堅固な大城だったと言われていいます。慶長6年(1601)結城秀康の越前福井への移封後取り壊され、百年後の元禄16年(1703)結城水野氏によって再び築れますが、明治維新の廃城令で取り壊されました。園内には蕪村の句碑があり、公園の周辺には空堀が見られます。

⑪ 〔結城大本営跡〕

明治40年の陸軍特別大演習実施に当たり、結城町に大本営が設けられ11月14日から20日までの7日間、明治天皇を始め内閣総理大臣以下の政府高官が結城に滞在された際に執務をとられた所です。

⑧ 〔源翁和尚の墓〕

結城家八代直光は源翁和尚を招いて安穩寺を再興しました。有名な逸話として、殺生石を2つに割り、悪霊を成仏させたと言われています。この話から、鎚のことを「ゲンノウ」と呼ぶようになりました。

④ 〔孝願寺〕

結城水野家の菩所。結城家15代政朝が開基、永正12年(1515)に玉岡の地に創建され、永正寺といわれたが慶長4年(1599)、18代秀康によって現在の地に再建されました。境内には小場兵馬自刃の碑、三門、戒壇石、御朱印堀跡、結城家、結城水野家・小場両家の墓があります。

③ 〔称名寺〕

結城家初代・朝光が親鸞の高弟・真伝を招き開基した、浄土真宗本願寺派の寺院です。親鸞の直筆といわれる「往生要集」、朝光肖像画像や木像など数々の文化財を所蔵しています。境内には、初代朝光から4代時広までの墓があります。

⑦ 〔妙国寺〕

法頂山妙国寺と称し、身延山を本山とする日蓮宗の寺院です。寺院内には早見普我の墓があり、与謝蕪村が詠んだ北寿老仙をいたむ碑があります。

⑥ 〔弘経寺〕

結城家18代秀康は娘・松姫の早世に遭い、存把上人を招き本寺を建立しました。また、江戸時代には、浄土宗における関東18檀林の一つとして広くその名を知られました。蕪村が兄弟子である砂岡雁岩を慕って結城を訪れ本寺に長く滞在しております。境内には松姫御霊屋、延寿堂、輪転経蔵、砂岡雁岩の墓、与謝蕪村・砂岡雁岩句碑、砂岡・塚原・中里家宝きょう印塔群があります。

⑤ 〔見世蔵(結城酒造)〕

慶長元年(1596)創業の老舗。上質の米と昔ながらの製法や頑固な伝統へのこだわりが極上の日本酒大吟醸「富久福」を生み出しています。

築年：江戸末期 形式：切妻造等

⑧ 〔見世蔵(鈴木新平商店)〕

築年：明治16年
形式：2階建・切妻平入

② 〔見世蔵(磯田邸)〕

築年：明治13年頃
形式：2階建・寄棟妻入
2階正面の火屋は、明治天皇のご来結時に街灯替わりに使用した遺品です。

⑬ 〔見世蔵(ふじの蔵)〕

結城の情報発信の拠点として整備しました。休憩所としてもご利用いただけます。

⑩ 〔三日月橋〕

日本三大埋蔵金伝説の一つです。結城清朝の埋蔵金伝説が残っており、大きなくぼ地となった発掘跡には橋が架けられています。

⑭ 〔郷土館〕

結城紬の歴史や製造工程を紹介しております。2階の工房では反物や着物を展示するほか、紬を織る様子も見学できます。

① 〔観光物産センター〕

物産品や特産品のお買物、また、観光と物産品情報の発信拠点でもあり、ガイドによる説明も行っております。

発行
結城市観光ボランティアガイド協会
〒307-0001
茨城県結城市大字結城1-1-1
Tel: 0296-48-8155

自主事業

毎年11月頃開催
「結城百選観て歩き」
※年によって開催内容が違つ場合があります。



自主事業

毎年1月初旬開催
「招運! ゆうき七福神めぐり」



きものday 結城(イベント)

毎年11月中旬開催
ガイド付き散策が好評です



結城市民情報センター1F



観光ボランティアガイドが常駐しております。

営業時間

3月~10月は9時~17時
11月~2月は9時~16時
毎週月曜定休
※月曜祝日の場合は翌日